

地域ネットワークニュース

～6月の勉強会のお知らせ & 5月の勉強会報告～

第140回地域ネットワーク勉強会

今回の勉強会は、茨城社協職員連絡協議会鹿行ブロックが主催する講演会にみんなで参加しようという企画です。ちょっとスタイルの違う勉強会にぜひご参加下さい。

『生活相談対応力強化研修』に参加しよう!!

講師：茅根洋一（ちのねよういち）氏

現職 神栖市役所危機管理監 所属 茨城県警察 警視



日時：平成21年6月2日(火)午後1時30分より
会場：鹿嶋市まちづくり市民センター 3階 講義室
別紙にて参加申込をお願いします。

福祉機関、行政、医療機関、教育関係機関などの窓口では、日々様々な相談が寄せられ、柔軟な姿勢での対応が求められます。

しかし、脅かしのようなクレーム、強引な制度利用要求、悪質な電話要求、「福祉」に名を借りた例外的対応要求など、相談対応者が身の危険を感じる、相談の一線を越えた事例の報告が増加傾向にあります。

そこで、電話 窓口等の個別対応上の注意点や組織としての事務対応の留意点、警察との連携など、実践的な対応方法を具体的な事例をもとにした講話が予定されています。

この機会に、対応者が不安なく相談を受け、組織全体が上記のような事例に対応できるような仕組みづくりを一緒に学びましょう。

第139回地域ネットワーク勉強会 報告 平成21年5月12日開催 <参加者42名>

対人援助者のストレスマネジメント

～ストレスと上手に付き合おう(その2)～

【ワーキングストレス研究所 所長 佐藤 浩氏】



今回の勉強会は2回連続講座の第2回目。前回に引き続き、対人援助職に圧倒的に多い「Compassion Burn out（共感燃えつき）」のお話を頂きました。

燃えつきの兆候や背景、燃えつきに陥りやすい行動パターン、そして燃えつきからどのように回復していくかを事例を交えて説明があり、チェックリストを使用した燃えつき度判定では、参加者の中にも若干、燃えつきの兆候が現れている方もいました。

「ストレスとは戦わず共生しよう」という先生の言葉に共感できた参加者の方も多かったのではないのでしょうか。セルフケア（ストレス緩和法）の重要性、自分との対話の大切さを学ぶことが出来た勉強会となりました。

お問い合わせ：神栖市社会福祉協議会 まちづくりグループ 0299-93-0294